

## 自然エネルギーで復興支援を・・・

アースデイなら South でほっとねっとが提起したいこと

今なお地震が続いている。東北地方太平洋沖地震の余震というよりも、それが誘発して新たな地震が発生しているとの見方が出てきている。福島原発の事故対応は既に出口の見えない迷宮に入り込んでおり、最悪の事態を避けられたとしても、1年後も同じ状態で水をかけ続けている可能性もあるという。もし新たな原発事故が発生すれば、日本は壊滅的な状況になってしまうという危惧を多くの人を抱いているだろう。

事故発生直後、命を掛けて事故対応に当たっている原発労働者の姿を前に、「だから言ったのに」というような言動は避けたいと思ってきたが、そうも言ってもらえない状況になってきていると思う。アースデイなら south の開催に当たって、実行委員会としての企画は、これまで内容的な議論を積み上げてきた訳でもないで行わないが、ほっとねっととしてのプレゼンはする必要があると考えている。

制御不能な放射能を呼び出し、そのつけを未来永劫、子ども達に背負わせていくエネルギー政策が犯罪的であり、脱原発の方向に転換しなければならないことは今や自明である。

エネルギーの大半を原発に頼り切っている日本の状況では、脱原発とは言っても、現実の問題として電力はどうするのか、という反論がある。今日の状況は、ある時期を境に自然エネルギーの開発が切り捨てられ、エネルギー利権のために政策的につくりげられてきた結果である。エネルギー政策の転換の具体案がなければ、脱原発は説得力を持たないので、そうした政策を脱原発の側が模索していく必要があるし、そうしたネットワークを広げながら、結集軸を見いだしていく必要がある。

当面の震災復興支援については、被災地で必要とされている電力その他のエネルギーを、自然エネルギー

で供給することが環境エネルギー政策研究所から提案されている。

次世代のために・・・  
(2009年アースデイより)

環境エネルギー政策研究所のHP↓

<http://www.isep.or.jp/tunagari-project.html>

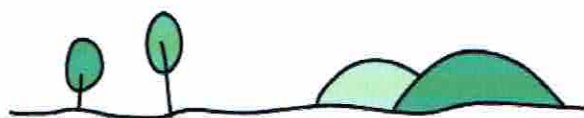
ほっとねっととしては、使途目的をこれに限定した義援金をアースデイなら south で募ることを検討している。



### 東日本大震災「つながりぬくもりプロジェクト」とは

自然エネルギーを活用した電気、お湯、お風呂の被災地への提供。次の3つのエネルギー支援を選択して募金するもの。

・太陽光発電・太陽熱温水器・木質バイオマス  
(詳細は環境エネルギー政策研究所 HP)



# 春を呼ぶフレイパーク

## 3月の「ひーとびーとの森」

### 飾り炭づくり&ランチ



形は元のまま、真っ黒な炭が出来上がっていました。

特に栗の実の光沢と形が美しく、細いとげが崩れることなく球形を保っている姿は芸術！といたくなるもの。毬藻のようでもあり、「と

うらかな春日和となった3月13日、ひーとびーとの森で約3ヶ月ぶりのフレイパークを開催しました。

この日のメインは「飾り炭づくり」。まつぼっくり、栗の実、杉の葉っぱなどをアルミホイルにくるんで、せんべい缶の中に密封し、すっかりおなじみになったブロック窯で焼いていきました。



小さな子どもにもわかりやすく、出来上がりが美しいものなので、親子連れからご年配の方まで本当はもっとたくさんご参加いただきたかったの

ですが、広報不足がたたったのか、この日の参加は1組の親子だけだったのはちょっぴり残念でした。

飯盒炊さんと同じ要領で火にさらしたせんべい缶の粗熱をとった後、恐る恐るふたを開けてアルミホイルをはずしてみると……。



なりのトロ」に出てくる「真っ黒クロスケ」にも酷似していて、インテリアとしても見飽きません。ついでに注連縄など、とんどに出しそとなったものを焼いてもらった後は、



春風の中でランチ。豚汁と干物、厚揚げ、手羽元焼きと素朴にして贅沢なメニューをゆっくりと味わいました。



昨夏、アプリコットファミリーから提供していただいた案内版が道しるべとして貢献してくれていることも報告しておきます。

#### イエローレシートキャンペーン

榎原アルル内にあるイオン榎原店より、2010年度後期分として5600円分いただきました。10月-3月、ほっとねっとのBOXに入れていただいたレシートの総額は555613円でした。。ご協力ありがとうございました。

## 廃油でせっけんづくり

3月5日 きんき環境館

廃油リサイクル研究会(ごみゼロネット大阪・あおぞら財団・ほっとねっとときんき環境館共催)の第2回では、石けんづくりと廃油回収・活用についての意見交換を行いました。石けん作りの講師はキャンドル作りの前回と同じく、ごみゼロネット大阪の西澤さん。500mlのペットボトルを利用して、一人ずつ卓上でつくるといふ、場所を選ばず手軽な方法が伝授され、各地で菜の花プロジェクトなど廃油リサイクル活動の中心メンバーである参加者の皆さんに、地元で早速講習会などができると喜んでいただきました。また、奈良県からの参加者が一番多く、意見交換で葛城市では行政と市民が一緒になってリサイクルを推進しているという、今まであまり知られていない身近で貴重な取り組みについて共有することができました。



## 『現代の「女人禁制」—性差別の根源を探る』出版記念シンポジウム

3月21日 県中小企業会館

大峰山女人禁制の開放を求める会では、3月に『現代の「女人禁制」—性差別の根源を探る』(解放出版社)を発刊しました。去る2005年の『「女人禁制」Q&A』(解放出版社)の出版から5年あまり、「大峰山女人禁制」の開放問題が、微動だにしないという現実があり、一般の人たちの多くにとっては、意識されない、風化された問題となりつつある今、「女人禁制」を、現在の差別問題として多角的にとらえ、発信する必要があるとの思いからの発刊でした。

内容は、「女人禁制」の概論および、宗教編、文化

セクシュアルマイノリティからの意見等も出され、「排除」を支えるものを考え、今日さまざまに残存する差別の根源について参加者で深め合うことができました。



編、マイノリティ編、そしてコラム、資料編から成っています。3月21日出版記念シンポジウムを開催し、約20名が集まりました。

シンポジストは3名で、「大峰山女人禁制」の開放を求める会共同代表であり、今回の執筆者の一人でもある源淳子さんが『「女人禁制」の思想』、同じく執筆者の宮前千雅子さんが「ハンセン病の近代史にみる排除と禁制、そして、前作『「女人禁制」Q&A』の吉川政重さんが『「女人禁制』の法的問題について 問題提起がありました。

源さんは、すべての人が有する「自然権」という視点から、それに反するものとして、「女人禁制」が、『女性の自然権』を徹底的に無視、侵害し、奪い取っている」と指摘しました。

宮前さんは、今まであまり取り上げられてこなかった近代におけるハンセン病史を、とりわけジェンダーの視点でとらえ、政府が行った非人道的な「絶対隔離政策」を支えてきたのは、他ならぬ一人ひとりの「善良」な市民であったことを指摘しました。

元、奈良県会議員であり、現衆議院議員の吉川政重さんは、ご自身も大峰講で参上参りに参加し、その途中、熱心な修行者である女性修験者と別れるのがつらかったとの経験を持っています。「大峰山女人禁制」が「女性差別撤廃条約」「世界遺産条約」などの国際条約や、道路法からの視点で、法的に抵触することを指摘しました。

会場からは、自らの出産の際での、「女性排除」にまつわる体験や、そのつらかったこと。

## 「人権のふるさと祭」

3月12日



水平社博物館隣の柏原解放センターで、「人権のふるさと祭」が開催され、地元の保育所園児から大人まで楽器演奏やダンス、書道や手芸など日ごろの成果の発表がありました。非常に残念ですが、3月末をもって終了となった解放センター。来年以降もどこかでこの手づくり、持ち寄りの温かなイベントがあり続けられればいいな、と願ってやみません。

## 菜の花咲きました！

今年は、昨年よりもたくさん咲いています。唐古・鍵遺跡の公園→菜の花畑→川沿いの公園という散歩コースになったらうれしいな。



# 野次馬情報 掲示板

## ☆奈良災害支援ネット（略称：支援ネットなら）

東北地方太平洋沖大地震の被災者に対してどういった事が出来るかを考える  
民間の協働体。当面は、奈良県や奈良市と連携しながら奈良へ避難された被災者  
に対する支援がメインになる予定。

### ■主な活動内容

※奈良県受入避難者への生活支援活動を行う。

●支援対象：公営住宅で避難生活をする人を支援することを原則にする。

自治体と連携して支援活動を行う。(被災者のプライバシーを守る)

### ●支援内容

1. 現在入居が決まっている15家族については、一家族上限3万円で、各家族が必要な生活用品の支援を、県または市町村受入窓口をとおして行う。

2. その後は、避難家族の要望を聞き、協力者に物品提供等を依頼する。

(ガスコンロ、照明器具、カーテン・・・県が提供か)

3. その後の入居者(現在約150戸を準備)については、これから募集する協力者からの支援金や物品で行う。

4. 多くの協力者を募集する。

登録制で物品、人手などを必要ときに支援活動に協力してもらう。

(登録用紙は、ホームページ <http://nara-sien.net/> からダウンロード)

※協力者として登録しないで支援金だけの協力も受付可。

※物資等の直接事務局への送付は不可

### ■被災者への呼びかけ

「・生活必需品の提供を受けたい、運搬を手伝って欲しい

・様々な手続きのサポートをして欲しい

・知らない土地で暮らしていく上で情報が欲しい

など、お困りの事がありましたら、奈良災害支援ネットへご連絡下さい」

### 【奈良災害支援ネット事務局】

TEL/FAX:0720-21-8211

Email:info@nara-sien.net

(被災者支援金送付先)

※被災者が生活を送る上で必要な物資や設備等に利用するもの

### 【振込先】

●ゆうちょ銀行 00970-4-110280(店番号)099

●三菱東京UFJ銀行 奈良支店(719)

普通 0082502

●南都銀行 本店(010) 普通 2126969

口座名義 奈良災害支援ネット

### ■事務局(問合せ先)

奈良災害支援ネット事務局(奈良NPOセンター内)

代表 反田 博俊

(奈良市西木辻町121-2朝日プラザ奈良プレシオ201)TEL/FAX:0742-21-8211

Email:info@nara-sien.net

URL:<http://nara-sien.net/>

### ■呼びかけ団体

NPO法人奈良NPOセンター／地球市民フォーラムなら／NPO法人奈良ストップ温暖化の会(NASO)／奈良県生活協同組合連合会／市民生活協同組合ならコープ／生活協同組合コープ自然派奈良／奈良YMCA／社団法人奈良青年会議所

## ☆奈良県に「障害者差別禁止条例」を作ろう！ 学習会

日時：4月23日(土)13:30-16:30

場所：大和郡山市市民交流館3階大会議室

参加費：無料

講師：佐藤 聡氏(メイントリーム協会)

体験発表 奈良県・西和地区在住の障害のある人たち

主催：奈良県に障害者差別禁止条例の制定をめざす会

問合せ：自立生活センター奈良サポート24

(奈良市法蓮町1027-1若草ハイツ1階)

TEL0742-26-6150、FAX0742-26-6153

Email:n-supo24@m5.kcn.ne.jp